

シミュレーション 看護教育速報



ワークショップで実施されたシミュレーション演習のデモ

小児看護学会 初のシミュレーションワークショップ開催される

日本小児看護学会第22回学術集会

日程：2012年7月21-22日

開催地：マリオス いわて県民情報交流センター(岩手県盛岡市)

ワークショップテーマ：

「小児看護学におけるシミュレーション教育の実践」

座長：勝田仁美(前近大姫路大学看護学部)

ファシリテータ：

永島美香(東京医科大学医学部看護学科設立準備室)

原 朱美(近大姫路大学看護学部)

女鹿 瞳(近大姫路大学看護学部)



会場内の様子

2012年7月21日、梅雨明け間近な岩手県盛岡市で開催された日本小児看護学会第22回学術集会において、学会プログラム初の試みである小児看護シミュレーションワークショップが行われました。学術集会一日目最後の演目でありながら、150名収容の会場は満席に近い盛況となり、会場を埋めた聴講者が興味深く見守る中、看護基礎教育小児看護領域におけるフルスケールシミュレーション※を用いた演習の実践報告とデモンストレーションが披露されました。

※フルスケールシミュレーション：全身患者シミュレータを使って、様々な臨床状況における患者の状態変化を再現し、体験を通して必要な知識、観察力、判断力、実践力、コミュニケーション、チームワーク等を習得するトレーニング手法



フルスケールシミュレーションを学内演習の総仕上げに

図1 シナリオ学習のプロセス



永島美香先生

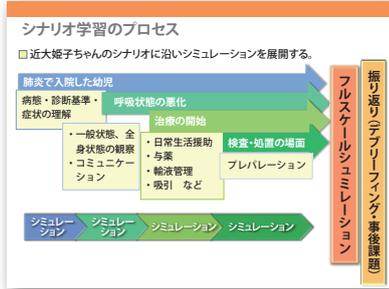


図2 フルスケールシミュレーション：演習の統合

フルスケールシミュレーション：演習の統合

- 事例課題：肺炎の子どもの看護
- 学習目標・行動目標の設定
- シミュレーションの進め方
 - 1) 学生に演習の1週間前にシナリオを提示
 - 2) 学生100名を4クラス（25名/1クラス）に分け、1クラス90分で演習を実施
 - 3) シミュレーションで使用する環境・備品の説明
 - 4) シミュレーションを実施
 - 5) 振り返り・デブリーフィング
 - 6) 4）、5）を繰り返す
 - 7) 最終評価

図3 シミュレーションの実演

シミュレーションの実演

シミュレーション導入オリエンテーションと事前の説明 → 1回目シミュレーション (10分-15分) → ディブリーフィング (20分) → 2回目シミュレーション

シナリオ：娘ちゃん、2歳4か月
 状況：入院1日目、AM9:20
 昨夜、母籍付き添いで外来受診後受診し小児病棟に入院となる。持続静脈点滴、抗生剤投与、ベネトリン吸入の治療が開始となっている。T37.9℃、RR36回/分、HR102回/分、SpO₂92%～94%。湿性の咳をしており、黄緑色粘調の鼻汁あり、機嫌が悪く看護師が近づくと「イヤイヤ」と泣く。母は「咳き込みがひどくてあまり夜は寝ていません」と震れた表情をしている。

<役割設定>
 *学生2名は近大娘ちゃんを受持つ、AM9:30に入室する。
 *教員は娘ちゃんのお母さん、教員は看護スタッフ

<使用できる備品>
 感染予防のための備品 体温計
 聴診器 ECGモニター
 SpO₂モニター 吸引器(備付)
 酸素吸入器(備付)

学習目標を示す

フルスケールシミュレーション演習デモ

後にはディブリーフィングの進め方も実演で示され、リアルな学内フルスケールシミュレーション演習の再現に、会場からは熱い視線が注がれました。



デモに参加した聴講者とともにディブリーフィングを行う

ワークショップは昨年(平成23年度)近大姫路大学「こども看護技術演習」で実践された内容をもとに構成されました。前半は永島美香先生によるフルスケールシミュレーション演習導入のための概論。授業形態にPBLを取り入れ、限られた授業コマ数の中でも大人数の学生たちが多角的に、そして主体的に学びを構築・共有していく過程が説明されます(図1参照)。それらの学習の集大成として学内で実施されたフルスケールシミュレーション演習の様子(動画)が放映され、小児患者シミュレータを相手に生き生きとしたコミュニケーションを図る学生の姿が紹介されました。

ワークショップ後半には実際の患者シミュレータを用いた演習デモンストラーションが行われました。使用されたのはレルダール社SimBaby。各種聴診、ケア、さまざまなパラメータのモニタリングを始め、自発呼吸や啼泣、チアノーゼまで表現できる月齢5ヶ月の乳児シミュレータです。

デモではSimBabyを呼吸状態の悪化した2歳4ヶ月児に見立て(図2、3参照)、付き添う母親と訪床する看護学生、引率の教員役をファシリテーターおよび会場からの参加者が演じる形で進んでいきます。ところどころで永島先生がポイントを解説、またシミュレーション

レルダールSimBaby® シムベビー®

乳児医療トレーニング患者シミュレータ



レルダールSimBaby®トレーニングシナリオ集

発行：レルダール メディカル ジャパン株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町8 一番町FSビル
 TEL:03-3222-8090 FAX:03-3222-8091 www.laerdal.com
 カスタマーサービス ☎0120-309-060



Laerdal®
 helping save lives